



近畿支部会報2020年3月号

暖かい日が続いています。みなさんは、いかがお過ごしですか？

新型コロナウイルスの影響が、世界中のニュースになっています。年末から続き、いつまでも終息を見ることはありません。はやく落ち着いてほしいと願っています。

奈良では、お水取りが始まらないと春が来ないといひます。私は、2月11日に京田辺市観音寺竹送りの行事に参加しました。当日は、小学生・大人の方が集まり、山から真竹を選んで3本根回しをして根っこから掘り起こしました。全部で7本をトラックの荷台に乗せて、転害門（てがいもん）に運びました。そこには、紫香楽（しがらき）から、藤蔓（ふじづる）10kg 40束が準備されていました。行事として運ぶのは、真竹3本と藤蔓3束でした。他は大八車・トラックで運びました。私もみなさんと一緒に、二月堂まで運びました。二月堂のお話を聞いたりして、奈良での行事に参加しながら、1269年続く行事にこのような、講と呼ばれる方たちのご寄進とご協力の上に成り立っているのがうかがえました。



以前、我が家へのトラベラーのSが、ジョギング中に久御山の写真をスマホに収めていました。見せてもらおうと、とても素敵な作品だったので、写真を送ってもらいました。彼に承諾をもらって、その写真を久御山町カレンダーに応募しました。その結果が届きました。11月号に作品を載せていただきました。早速、カレンダーを送るべき準備をしています。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

1. 例会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・	支部長 A.K
2. トラベラー報告・・・・・・・・・・・・ドイツクリスマスマーケット	大津市 S.S
アルゼンチンの旅	京都市 H.T
3. トラベラー受入れ報告・・・・・・・・裸の付き合い	京都市 W.H
不思議な出会い	大津市 S.Y
トラベラー アラスカと活動紹介	C.T・C.M
4. お知らせとお願い・・・・・・・・・・・・・・・・	支部長 A.K

1. 例会報告

支部長 A.K

2月の例会は22日（土曜日）昼食をはさんで8名（H.T、T.M、K.J、M.T、M.K、A.T、A.K）の参加で奈良『あしびの郷』で行いました。小雨の降る中、落ち着いた蔵の中であしびの御膳をいただきました。新型コロナウイルス（COVID-19）の影響もあり、いつも賑わっている商店街は、落ち着いた静かな感じでした。今井凌雪の書が掛けてありました。



1. お楽しみ交流会について

国内会議が2年に一度になり、今年は国内会議がないので東海北陸支部と一泊支部交流会が出来ないか検討した。

場所は、滋賀県（フィンランド学校）フィンランド学校との連絡はH.Tさんをお願いします。

日程は東海北陸支部と6/6・7または、6/13・14でAが調整する

東海北陸支部は3月の例会が中止になった。

実施する事になった場合、内容（参加方法・日程等）については、H・N・Aで検討する。

2. Tさんからの寄付の使い方について

*110万円寄付の使い方は、T基金として、国内会議（メールによるものを含む）で承認をうけ、緊急や臨時に各支部・本部で会計援助の必要が生じた費用に使う。また、T基金が減らないように、使用した分については各支部からのカンパを募ることが良いのではないのでしょうか。

3. 近畿支部お楽しみ例会 桜を鑑賞しながらTさんを囲んでお話をする会

4/4（土）10時 JR 京都駅 1F 中央改札口を出たところで集合。地下鉄で移動。

場 所 京 都 植 物 園 （ 入 場 料 200 円 、 70 歳 以 上 無 料 要 証 明 書 ）

<http://www.pref.kyoto.jp/plant/11900003.html>、及び半木の道等周辺の鴨川堤防

弁当持参・新型コロナウイルス（COVID-19）の影響とTさんの体調により中止もあります。3/25締め切りとして近畿支部会員にお誘いする。と、相談したが、今回の状況により中止します。

4. 電子スタンプ L0I 発行について

紙スタンプ L0I を 2021 年より電子スタンプ L0I 発行変更になる。内容については本部会報を参照。

2. トラベラー報告

ドイツクリスマスマーケットに参加して

大津市 S.S



この度の旅行に参加できましたこと、心より感謝いたします。この旅行で私が1番学びたいと思ったのは、サーバスの受け入れがどの様になされているかを知るためでした。日頃から、主人は、できる精一杯をさせていただけばいいと申しております。どのホストの方々も、多少の違いはあっても、やっぱりそこに尽きるのだと、実感致しました。今回は、日中もアレンジしてくださっていて、特別だったと思います。我が家にステイされた方々には、翌日のスケジュールをお聞きしてノープランと言われる方には、ご一緒致します。ご自分のプランのある方については、駅までの送迎をさせて頂いてきました。気づいたことがありました。バスタオルはベッドに用意しておく事と、就寝時にお水とコップを用意してくださっていた事、参考になりました。最後のホストは、大変お忙しい方でしたが、受け入れて頂いただけでも有難いと思いました。相手の立場になって考え行動することの大切さを痛感したこの度の旅でもありました。

アルゼンチンの旅

京都市 H.T

南米には若い時ブラジルに行ったことがあります。その時は若さと言う勇気があり、一人で出かけました。アルゼンチン、特に、パタゴニアへ行きたいと思った今は歳をとって、一人で出かける勇気はありませんでした。幸い、Oさんという良いサーバス仲間が見つかり、又、我が家に来られ、その後、何度か国際サーバス会議でお会いしている Buenos Aires の A さんが色々助けて下さって、Buenos Aires はサーバスステイ、交通等不便な所は現地旅行社のツアーを日本から予約という形で、1月24～2月17日の旅が実現しました。



Buenos Aires でサーバスホスト達と

1月25日 ホスト Ms. M



我が家に来られた方で、飛行場へ迎えに来て下さいました。夕食にはアサドという炭火で肉を焼く代表的なアルゼンチンの料理を御馳走して下さいました。庭のプールで泳いだり、とてもリラックスさせてもらったので、旅の疲れがすっかり取れました。

1月26日27日 ホスト Ms. C

この方も我が家に来られた方で、久しぶりの再会を喜びあいました。引っ越しで段ボール箱いっぱいの中、私達を受け入れ下さいました。バスで観光に連れて下さり、地下鉄の乗り方も教えてもらって、その後、私たちは Buenos Aires を自由に行き来出来るようになりました。

1月27日 ディホスト Mr.J

サーバスでタンゴコーディネーターをしてられる方で、タンゴ博物館を案内して下さいました。

ツアーでパタゴニアとイグアスの滝へ(1月28日～2月10日)

ウシュアイア

マゼラン海峡よりまだ南、南極に最も近い世界最南端の都市ウシュアイア、世界の果て号という列車で国立公園内を見たり、クルーズ船でビーグル水道に行き、海峡沿いの小島にたむろしている海獣や海鳥を心ゆくまで楽しみました。



エル・カラファテ

ここで行ったペリトモレノ氷河は、氷河の氷の割れ目が地中に向かって青白く透き通っ

ていて圧巻でした。又、チリに位置するパイネ国立公園も雪をかぶり、鋭く高くそびえる神々しいアンデスの山が素晴らしかったです。

エル・チャルトン

フィッツ・ロイ山（3405m）に登りました。

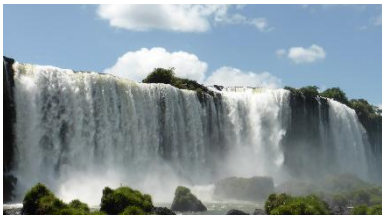
サン・カルロス・デ・バリローチェ

ここは高い山々や透明の水をたたえる湖が美しく、南米のスイスと言われるのを納得しました。サンマルティンで各々が独特の雰囲気醸し



出す7つの湖を、ウェルウデビ湖では小鹿のバンビの舞台になったアラジャネスの森やビクトリア島でのウォーキング等、自然探索を楽しみました。

イグアスの滝



イグアスの滝は世界3大瀑布の1つです。ルーズベルト夫人が「かわいそうな私のナイアガラ」と言ったようにスケールはケタ違い、歩けど歩けど尽きない幾つも連なった大きな滝をブラジル側とアルゼンチン側から楽しみました。

再び **Buenos Aires** でサーバスホストたちと、

2月10日 11日ホスト Ms. R

彼女は開口1番「孫の誕生日パーティが親類であるのを忘れて貴女たちを引き受けてしまった、明日そちらに旅立つ。鍵を渡すので、自由に使って下さい。」と言われ、キッチンの使い方等を説明して下さいました。合ったばかりの私たちを信用して下さいる事に感謝でした。

2月11日 ディホスト Ms. M

京都にも来られ、Wさん宅に泊まれた方で、美術館等を案内してもらいました。詳しくいろいろ説明して下さい、来て下さってとても良かったです。

2月12~14日 ホスト Ms. & Mr. A

Aさんは絵画やガラス工芸を専門にいられて家は美術館のようでした。私たちもガラス工芸を教してもらいました。最後の夜はBye-Bye Partyをして下さり、お世話になったサーバスメンバーが12人と盛り上がり、忘れられない旅の思い出を作して下さいました。



2月12日 ディホスト Ms. G



川を隔ててウルグアイとの国境になっているティグレを案内して下さい、快い風に吹かれてクルーズや散歩を楽しみました。とても親切な方で、その後もいろいろ面倒を見て下さいました。夜にタンゴショーを鑑賞しました。

2月13日 ディホスト Ms. M & Ms. R

5月広場で「5月広場の母たち」の集会を見ました。これは植民地時代に子供たちを連れ去られた母たちが抗議のために始めたのが発端で、今日まで木曜日ごとに行われています。今では平和を求める内容も多く含まれていますが、息の長い取り組みに感動でした。その後、MさんがBOCA地区に連れて下さいました。ボカ地区は私にとって最も印象的な所となりました。夜は私たちとMs. M、Ms. Rで100mの高さで最上階は灯台になっているPalacio Baroloというビルのツアーに行き、高所恐怖症の人には耐えられないだろう100m高さの空中から地上を見下ろしました。



旅を終えて

アルゼンチンは何と言ってもイグアスの滝やプエルトモレノ氷河など、今までに見た事のない大自然が素晴らしかったです。ヨーロッパやアメリカ、カナダにも大自然はありますが、そこには観光客がい



ます。自然を心ゆくまで味わえるのは何と言ってもアルゼンチンというのが私の印象です。しかし、その自然以上に心に残ったのが Buenos Aires の BOCA 地区です。そこは道に並ぶ家々の壁やテラスや屋根、又、道までカラフルに色付けされていて、明るく楽しい雰囲気です。その発想はキンケラ・マルティンによるものです。彼は子供の頃からボカを愛し、港の風景とそこで働く人々を描き世界的に有名な画家になりました。絵が売れるとそのお金で病院や小学校、幼稚園、美術館などをボカに建てました。彼が生涯を

かけて作ったボカ地区を散策すると、彼が如何にボカを愛していたかという彼の魂に触れることが出来て、非常な感動でした。芸術には作者の魂・人生が宿っているがゆえに見る人の人生にも食い込み、感動を与えるという事に気づきました。私の人生にとって、大切な発見でした。



お世話になったサーバスの仲間たち、本当にありがとうございました。

3. トラベラー受け入れ報告

まずは裸のお付き合い

京都市 W.H

2月とは思えぬ暖かさと晴天に恵まれた3日、私達は京都駅前で待ち合わせました。

情報はアンカレッジの女性と中年の日本人ご夫婦とだけでしたが、意外と早く感動の対面ができました。ハヶ岳とアンカレッジに住まいがあるCご夫妻は、お仕事の関係で行ったりきたりされているとかで、今回は日本が初めてのアラスカ SERVAS メンバーLと京都を訪れました。

ご主人は温泉好きと聞いていたので、市バス、叡山電鉄と乗り継ぎくらま温泉に向かいました。私以外はタオル持参でした。入湯料1000円の露天風呂コースを選択し、しばしご主人とはお別れして自然の中で裸のお付き合いは、本当に私達って今日初めて会ったの？と問いたくなるほど楽しく話はずみ



ました。澄んだ青空にかすかな鳥の鳴き声を聞きながら温泉につかり心身共にリラックスでき、文字どおり裸のお付き合いができたと思います。昼食を済ませ駅までの帰り道鞍馬寺に立ち寄り、清々しい空気のなか山上の本堂まで登りました。

その日の夕食は私の家の近所のお店（なかなか予約の取れないお店）でとることができ、ちょっと珍しい手巻き寿司をおいしく楽しんでいただけて私も大満足の日でした。

次の日は車でまずは金閣寺へ、車中OldiesのCDにはまったLと私は一緒に歌い…そして午後はLの古い家並みがみたいとの要望にこたえ、二年坂三年坂から祇園、花見小路、新京極、錦市場そして我が家に戻り車で京都駅に送りました。Lは金閣寺でも清水でも錦市場でもお腹が空いていたのか試食ばかりしていたのが印象的で、私

とMは顔をあわせては苦笑いばかりでした。よく食べてよく歩いた2日間でしたが、今回も素敵な出会いに感謝感謝です。聞くとところによるとM、とTと呼び合う仲のいいCご夫妻のアンカレッジでの生活は電気も水道もないとか、そんなお2人の生活を垣間見るためぜひアンカレッジを訪れたくなりました。

不思議な出会い

大津市 S.Y

2月5日～7日 アラスカからC夫妻と友人のLさんの三人で滞在されました。5日は、お昼過ぎに到着、家でランチの後、女性二人は近所の温泉に、ご主人は、運動不足解消の為と言って、薪割りを手伝って頂きました。アラスカで日常的にやられているとの事で、とても捗り助かりました。そのあと、薪で沸かした五右衛門風呂に入って頂きました。妻は女性たちを温泉に迎えに行き、一緒に孫を保育園に迎えに行きました。帰りの車の中、二歳の孫はお喋りでLと楽しそうに話していたそうです。日本語と英語だけど、意思の疎通は出来ていたみたいとのことでした。みんなで知り合いの畑に寄って夕食の鍋用の大根、白菜、ネギをもらって帰ってきました。夕食の時以前アラスカのCさんの所で働いていて、私たちにCさんのことを話してくれた近所に住んでいる若者の義理の両親が、ワインを持って遊びに来てくれました。C夫妻とすでに面識があり、話が弾みました。



した。ちなみに本人は用事で来る事が出来ませんでした。

翌日、朝はゆっくりしてもらい、昼前から、琵琶湖畔の散歩に出掛けました。ご主人は途中から家に帰ってきて、チェーンソーや斧、薪割り機を使ってたっぷり暗くなるまで、薪割りをして頂き本当に助かりました。みんなで夕食の準備をして、アラスカの写真や話しをたくさん聞かせていただきました。

トラベラー C.TさんとMさんのアラスカ活動紹介

北米大陸最高峰・デナリ山(6190m)山麓にあるログハウスで自然エネルギーの実験や日本からの大学生、シニアボランティアの受け入れを続けるデナリ・チノ・ネイチ

MAINICHI MEDIA CAFE

「アラスカでの暮らし」講演会開催

一昨年に完成した4面デッキからは、ヘラジカやオオカミ、グリズリーなどがみられ、夜はオーロラを楽しめる。茅野所長は「大自然に感謝し、楽しむことが基本。ぜひ訪れたほしい」と呼びかけた。問い合わせは日ア協会 (viba1994@gmail.com) へ。

【七井辰男】

ログハウスから見えるオーロラの写真を説明する茅野徹さん(右)と妻の光代さん(左)

ヤーセスター(DCN C)所長の茅野徹さんと妻の光代さんが4月16日、東京都・一ツ橋の毎日メディアカフェで「アラスカでの自然豊かな暮らしを語る」と題して講演した。

デナリ山は旧名「マツキンリー」。3年前に米政府が先住民の言葉で「偉大な存在」を意味するデナリを正式名称とした。茅野所長は山麓に5万坪の土地を購入。2006年以来、キャンピングカーに寝泊まりしながらボランティアでログハウスや発電設備づくりを続けてきた。



MAINICHI
MEDIA
CAFÉ

イベント情報

2018/04/16(月)18:30-20:00

アラスカでの自然豊かな暮らしを語る

北米大陸最高峰であるデナリ山、夜空にきらめくオーロラ、グリズリー、ムース、カリブー、オオカミなどの野生生物が間近に暮らす、何千年と変わらぬ自然が残るアラスカ。デナリ州立公園内の電気も水道もない北の大地に夫婦で移住して12年、茅野さんはデナリ・チノ・ネイチャーセンター(DCNC)を立ちあげ、9年間にわたり、同センターのインターンシッププログラムとして、日本の大学生からシニアまでのインターンやボランティアを2週間から3か月にわたって受け入れ、大自然の中でトレイル作りやキャビン建設などの作業をしながら、アラスカで過ごす機会を提供しています。スマホやPCから離れて、大自然の中で自分をみつめ直したい、昔はそう暮らしていたように、自然エネルギーを利用して生活する、持続可能な暮らしを体感したい、デナリでの自然豊かな暮らしとボランティアやインターンとともに作り上げてきた人間交流の魅力を茅野さんが語ります。2018年のインターンシップに関心のある方も、是非ご参加ください。



茅野 徹(ちの・とおる)

デナリ・チノ・ネイチャー・センター所長

米国/パシフィック・リム・サービス(PRS)の代表取締役社長

1977年、北海道大学水産学部化学科を卒業。米国アラスカ州を本拠に、ワシントン州、オレゴン州及びカリフォルニア

州に置ける州立大学、国立研究所と共同で主に、汚染された地下水・土壌浄化技術の研究普及、また米国、日本、台湾、中国を含むアジア諸国の汚染現場で実際の浄化活動に従事、米国の環境コンサルタントのパイオニア的リーダーである。その活動は米国にとどまらず、カナダ、中南米、南米、台湾、日本を含むアジアにおいても国際的な企業家として活躍している。現在、アラスカの独自プロジェクトとして、“自然エネルギー技術”のイノベーションに着手、大自然の中で人々の夢をかなえる“生涯教育”にも取り組んでいる。北海道大学から北大大使を任命され、大学の国際化にも米国から貢献している。



■MOTTAINAISTATION 内の

「毎日メディアカフェ」にて行われます。

東京都千代田区一ツ橋1-1-1

毎日新聞東京本社ビル(パレスサイドビル)1F東側、平川門側



お申込みは毎日メディアカフェのWEBサイトから！

毎日メディアカフェ



<http://mainichimediacafe.jp/>



ご来場をお待ちしております。

以下タッチフォーヘルス(TFH) の紹介です。

~~~~~

私は国際キネシオロジー大学(IKC)公認タッチフォーヘルスインストラクターです。

世界共通の公式講座を中心に半日セミナーや個人セッションも行なっています。

タッチフォーヘルスは東洋医学と西洋医学の両方を取り入れた自己治癒力を高めるシンプルで効果のある健康法です。

TFH はキネシオロジー(筋肉や関節を研究する学問/身体運動学)の基本でもあります。

筋肉の強弱を見てアンバランスを見つけます。ツボやリンパの流れを整えるとバランスが良くなり自然治癒力が高まり姿勢が改善されます。元気になります。

心理学や自己啓発の要素も入っているので目標達成や自己実現にも役立ちます。

3つの要素(心、身体、食)全てを大切にしたボディーワークです。

もともとは専門家しか使えなかった技法でしたが一般の人も学んで使えるようにした家庭の医学です。

自分の健康は自分で守る、自分、家族、友人にできるようにと考え研究、臨床を重ねて創始されたタッチフォーヘルス(TFH)現在では世界 100 ヶ国以上に普及しています。

私のホームページは [mitzialaska.com](http://mitzialaska.com)

ミッチーこと C.M.

#### 4.お知らせとお願い

支部長

\*次の例会は 2020 年 6 月 14 日 15 日で、詳しくは追って連絡しますので宜しくご予定下さい。

\*2020 年度サーバス年会費（一般 3 0 0 0 円学生 2 0 0 0 円休会者 B 1 0 0 0 円）をまだ送金されていない方は、至急 郵便振替払い込み 口座（会員専用の日本サーバス Web ページの近畿支部会報を参照）へ宜しくお願いします。

以上